

議 長	局 長	主幹・係長	係

粕屋町議会 視察研修報告書

下記（別紙）のとおり、視察研修に参加しましたので、その内容について報告いたします。

粕屋町議会議長 末 若 憲 治 様

令和 7 年 2 月 26 日

粕屋町議会
議会広報常任委員会
山 脇 秀 隆

報告事項

委員会名	議会広報常任委員会
日 時	① 令和 7 年 2 月 6 日 13 : 30 ~ 15 : 00
視 察 先	① 添田町 議会広報委員会
研 修 目 的 (テーマ)	① 議会だより広報編集・デザイン奨励賞受賞の先進的な取り組み内容について
現状と課題	議会だよりも先進的なデザインや構成について一段の効果を上げているが更なる議会だよりの向上と紙面の内容の簡略化、編集作業の時間の短縮に課題がある。

<p>概要</p>	<p>広報常任委員会の活動：委員会は議会広報誌の編集・発行、住民との議会活動報告会・意見交換会、議会ホームページの管理を行う。</p> <p>・広報常任委員会の構成：定員 6 名、現在 5 名で活動。任期は 2 年。</p> <p>議会活動の充実：情報化社会に対応するため、資料調査収集、議会活動方法、ホームページ等の充実を図る。</p> <p>広報活動の充実：広報公聴常任委員会を設置、定数を増員、町議会基本条例に基づき、議会と町民をつなぐパイプ役として議会だよりを発行する。</p> <p>議会広報紙策定マニュアル：編集方針や広報目的、作業内容をマニュアル化し、委員の総入れ替わりがあっても意識の統一と作業の標準化を図る。</p> <p>議会広報紙の受賞歴：令和 5 年、全国町村議会議長会主催のコンクールで編集デザイン部門奨励賞受賞。令和 7 年 2 月、同コンクールの 39 回大会で優良賞受賞。</p> <p>議会広報紙の評価：審査員から、議案審議の報告にとどまらず、政策制度や自治体の将来への取り組みを掲載している点が評価された。住民と議会の語り場として注目され、議会への信頼向上や公聴の活性化につながると期待されている。</p> <p>議会広報紙の編集方針：事務局任せにせず委員が積極的に取り組む。公平中立な立場を堅持する。庶民に親しまれ、わかりやすい紙面づくりをモットーとする。</p> <p>議会だよりのページ数と印刷：基本 16 ページ、表紙と裏表紙はカラー、中身は 2 色刷り。必要に応じて 14 ページに変更する場合もある。</p> <p>議会だより作成の流れ：作成期間はおよそ 40 日。定会前にスケジュール調整と指名割りを行い、定例会議後、最初の変更締め切りを設定する。業者に初稿分を作成依頼し、印刷業者から上がってきたものをチェックして発注納品を行う。</p> <p>議会だよりの編集方針：中学生でも理解できる文章、大きな文字、住民のコメントやイラスト写真などを活用し、高齢者にも見やすい紙面作りを行う。</p> <p>議会だよりのフォーマット：町議会の視察レポートなど、固定されたフォーマットで議会だよりに掲載する。</p> <p>記事作成の工夫：広報委員の手書きのイメージを印刷業者が記事化し、有料賞を受賞した記事では、BRT 運行開始を特集した。</p> <p>議会だよりの構成作業：187 号 11 ページを例に、構成作業の過程を説明する。</p> <p>ホームページの目的：住民の声を議会に反映させる方法、議会の考え、重点取り組み事項を発表する</p> <p>記事作成の経緯：議会報告会での住民の声を元に、当初の経過報告が実施報告になってしまっていたため、やり直しをかけ、現行との比較も加えた</p> <p>記事のデザイン変更：委員会の要望で、ライントーク画面のような紙面デザインに変更。住民の声を反映した部分と、重点取り組み事項を掲載する枠を設けた</p> <p>レイアウト変更：委員会ごとの情報を分かりやすくするため、矢印で指示するデザインから変更した。</p> <p>文章とデザインの修正：読みやすさを向上させるため、文章の訂正と</p>

	<p>デザイン調整を行った。</p> <p>ページ構成の改善：福岡県飯塚市農林事務所の健康レイアウトのページ構成を見直し、項目ごとに整理し、読みやすくした。</p> <p>編集ページの改善：画面右の本文をトリミングし、余白と説明を追加することで読みやすさを向上させた</p> <p>チームでの取り組み：チームで話し合いながら、より読みやすいページレイアウトを作成する</p> <p>今後の展望：町議会の取り組みや編集を伝える広報づくりを目指し、課題に取り組み続ける</p>
<p>質 疑 応 答</p>	<p>質問；レイアウトブック帖を参考に紙面づくりをしたとあったがどれ程の量のブック帖があるのか。</p> <p>回答；さほどの量はない。今までの編集作業した外部業者のデザインを参考にレイアウトしている。ほぼ業者がうまく対応してくれている。ただその業者も今回で仕事を辞めるため次の業者を探している。</p>
<p>所 感</p>	<p>① 編集作業の時間の短縮には。写真やイラストを多く使用することやレイアウトをあらかじめ設定して、当てはめていく方式（添田町のようにレイアウトブック帖の活用）が必要と感じた。</p> <p>① 紙面づくりで全面カラーではなく表紙と裏表紙のみでも十分に見劣りしなかったので一考に値する。（経費削減）</p> <p>② 今後市制にむけてタブロイド版の広報誌を模索するときと思う。</p> <p>最後に近場での視察であったがマイクロバスの座席が硬く腰を痛めてしまった。公共交通機関での移動手段がよいのではと思った。</p>